



令和2年度 第2回 緩和ケア勉強会 『せん妄をいかに見つけるか ～せん妄診療 Back to Basics～』

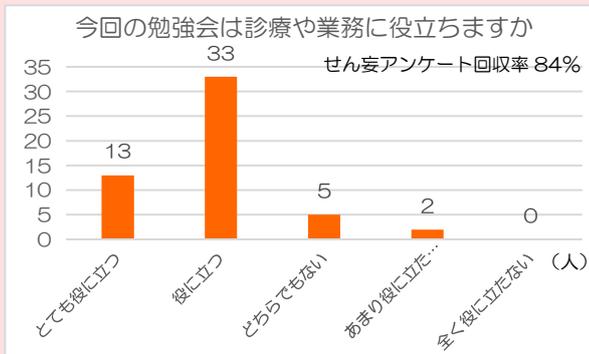
2月9日に今年度2回目、緩和勉強会

『せん妄をいかに見つけるか ～せん妄診療 Back to Basics～』と題して、精神科の渋谷譲先生からご講演をして頂きました。参加者は、63名（院内48名、院外15名）でした。

勉強会では、「①興奮を伴う典型的なせん妄の周辺に、軽症のせん妄、閾値下せん妄が存在する。②興奮を伴うせん妄ではマニュアルに沿った抗精神病薬投与でよいが、軽症、閾値下では適切な睡眠治療が優先される。

③診断が微妙なケースは該当/非該当にこだわらず、睡眠補助治療を行っていくことが有用と思われる。」ということ学びました。アンケートより、今回の勉強会は診療や業務

に役立つと評価が高く、参加者からは、「せん妄に使用する薬剤の使い分けについて学べて良かった。」「せん妄と判断するのか、睡眠状態が悪いのかがわからない場合での薬の選択やマニュアルについて理解することができた。」等の意見がありました。また、今回の勉強会は、セーフティプラスで視聴可能となっていますので、参加できなかった方は、ぜひ視聴してみてください。



令和2年度 第1回 緩和ケアセンター地域連携カンファレンス (第4回 地域連携緩和ケア協議会)

2月25日に緩和ケアセンター地域連携カンファレンスを開催しました。『入院して孤独でいるよりも、家族とともに自宅で最後まで過ごしたいと希望された49歳女性 卵巣がん 多発転移』の症例について、当院からは①治療の経過と緩和ケアの介入状況について、在宅スタッフからは、②退院後の本人・家族のそれぞれの受け止め方や希望、関わりの中で気になった点や検討したい点について、医師・看護師・在宅医・訪問看護師・ケアマネジャーがそれぞれの立場から、ディスカッションをしました。

カンファレンスでは、ご本人・ご家族の歩んでこられた人生背景を大切に、その人らしい生き方を尊重し、その思いに寄り添いながらサポートしていくことが大切であると、話し合うことができました。参加者からは、「顔の見える関係って本当にいいですね。また、お声掛けください。」と話がありました。

第2弾も企画していきますので、ご協力よろしくお願いします。



おしらせ

『書見台』について



病状進行で動けなくなった患者さんより、寝ながらでも読書やタブレット、スマホが見たいと希望があり、QOL改善に向け、『書見台』を購入しました。アームとスタンドの角度調整自由で、しっかり固定でき、どんな体勢でも大丈夫です。ご希望の場合、緩和ケアセンターまでご相談ください。



緩和ケアの申し込み・問い合わせは
緩和ケアリンクナースまたは、
緩和ケアセンター（内線3880）まで

